

国道354号（小桑原工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元
の声

・東北自動車にもつながる主要道路なので、災害時にも通れるようにしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：館林市小桑原町
- 事業内容：電線共同溝 延長1,000m
- 事業期間：平成28年度～

■ 現在の交通量：27,100台/日（自動車）
（R3年度） 0人/12時間（歩行者）
2台/12時間（自転車）

事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ（館林市内）

成果を示す項目	実施前
交通拠点と防災拠点間（館林IC～館林厚生病院）の無電柱化率	0%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後（目標）
8%
なし

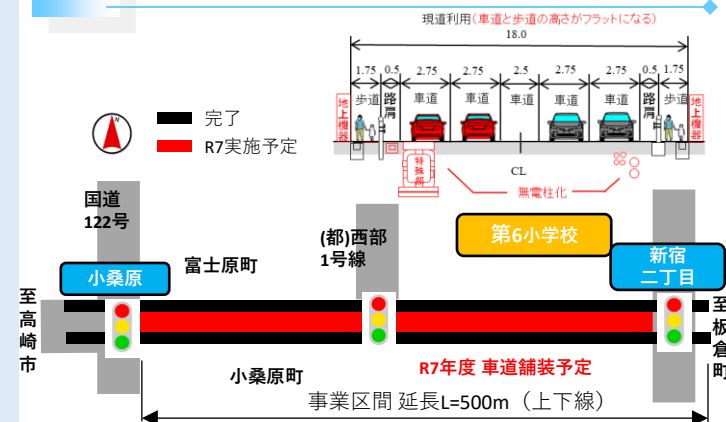
事業のすすみ具合

事業開始 ●



事業完了

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は入線工事及び舗装工事を行います。



現在の工事状況



R7工事予定箇所